

川西市消防吏員の服制に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和8年3月9日

川西市長 越田 謙治郎

川西市規則第 4 号

川西市消防吏員の服制に関する規則の一部を改正する規則

川西市消防吏員の服制に関する規則（平成16年川西市規則第38号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太枠の表示部分（以下改正前の欄にあっては「改正前部分」と、改正後の欄にあっては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正前部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正前部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正前部分のみ存在するときは、当該改正前部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正前	改正後
別表（第2条関係） （別紙1）	別表（第2条関係） （別紙1）
別図（数字は寸法を示し、その単位はミリメートルとする。） （別紙2）	別図（数字は寸法を示し、その単位はミリメートルとする。） （別紙2）

付 則

この規則は、公布の日から施行する。

別表 (第2条関係)

消防吏員服制			
冬帽～夏帽 (略)			
防火帽	帽 (略)		
	しころ	色又は地質	濃紺の耐熱性合成繊維の織物
		製式	取付金具により帽体に付着させるものとし、前部において、両眼で視認できる部分を除き閉じる事が出来るものとする。 形状は別図のとおりとする。
保安帽～活動服 (略)			
防火衣	上衣	色又は地質	濃紺の耐熱性合成繊維の織物 (防火帽しころと同一のものとする。)
		製式	折りえりコート型とする。 えり裏にマジックファスナー及びストラップを取りつける。 外衣裏側両肩に対衝撃パットを入れ、前合せ部はファスナーを1行につけ、隠しマジックテープでとめる。 胸、背、裾、袖口に黄色とシルバーの反射布を縫いつける。 胸部右側に1個及び腰部左右に各1個の雨ふた付きポケットをつける。 左右の身頃及び背中に安全帯用ベルト通しを取りつけ、背面上部に「HYOGO 川西消防」と黄色で2列のシルク印刷をする。 形状は、別図のとおりとする。
	ズボン	色又は地質	上衣と同様とする。
		製式	前立てはファスナーとして、両側面に黒色の腰回り調整用バンド及びバックルを取りつける。

			<p>両裾の上部に黄色とシルバーの反射布を縫いつける。</p> <p>両大腿部横に各1個の雨ふた付きポケットをつける。</p> <p>形状は、別図のとおりとする。</p>	
冬救急服	上衣	色又は地質	<p>明るい青みの灰色で、表面はポリエステルを、裏面はポリエステルと綿との混紡糸を使用したピッケ</p>	
		製式	前面	<p>台えり付きシャツカラーの長そでとし、ウエストラインにタックをいれる。</p> <p>前面にファスナーを1行につけ、隠しマジックテープでとめる。</p> <p>胸部左右に各1個、左肩下に1個のペンポケットをつけ、胸部左右のポケットにはふたをつける。</p> <p>左側のポケットにペン刺し穴をつける。</p> <p>えりに、ポリエステルと綿との混紡糸を使用した白のブロードの替えりをつける。</p> <p>胸部左ポケット上部にマジックテープをつけ、「川西市消防本部」の文字及び氏名をオレンジ色、「救急救命士」を赤色でししゅう状を施したワッペンを張りつける。</p> <p>形状は、別図のとおりとする。</p>
			肩章	<p>外側の端を肩の縫目に縫い込み、白の反射テープの肩章カバーを差し込むとともに、えり側を地質と類似色のボタン1個でとめる。</p>
			階級章	<p>胸部右のポケット上部につける。</p>
	ズボン	色又は地質	<p>暗い灰色で、ポリエステルと羊毛との混紡糸を使用したサクソニー</p>	
		製式	<p>長めのタックを入れた長ズボンとし、両もも及び左右後方に各1個のポケットをつける。</p> <p>後方左右ポケットはボックスプリーツ上切替え仕立てとする。</p>	

			すそ口は、シングルとする。 形状は、別図のとおりとする。
夏救急服	上衣	色又は地質	明るい黄みの灰色で、ポリエステルを使用したピンホールトロピカル
		製式	半そでとし、その他は冬救急服上衣と同様とする。 ただし、左肩下のペンポケットをつけないものとする。 形状は、別図のとおりとし、図中二重斜線部分はスリット空き、背裏メッシュ仕立てとする。 形状は、別図のとおりとする。
	ズボン	色又は地質	暗い灰色で、ポリエステルと羊毛との混紡糸を使用した霜降りトロピカル
		製式	冬救急服ズボンと同様とする。

救助服～防寒衣 (略)

救急防寒衣	色又は地質	明るい青みの灰色で、合成樹脂（撥水加工、静電防止）
	製式	ブルゾン型とし、衿は二重、内衿はスタンドカラー、内側にはジャージをつける。 外側の衿部裏にフードを収納し、ファスナーで開閉する。 ポケットは左右腰部に雨ふたをつけ、ドット釦でとめる。 前立て内側はファスナー式とし、表側はドット釦でとめる。 両肩に肩章を付け、先をドット釦でとめる。 裾は、ゴム入りとする。 背面上部に「KAWANISHI」と青色でプリント印刷する。 その下に白色で「EMS」と、最下部に青色で「HYOGO」とプリント印刷する。 右肩に氏名を青色のローマ字でししゅう状を施す。

雨衣～ワッペン (略)

別表 (第2条関係)

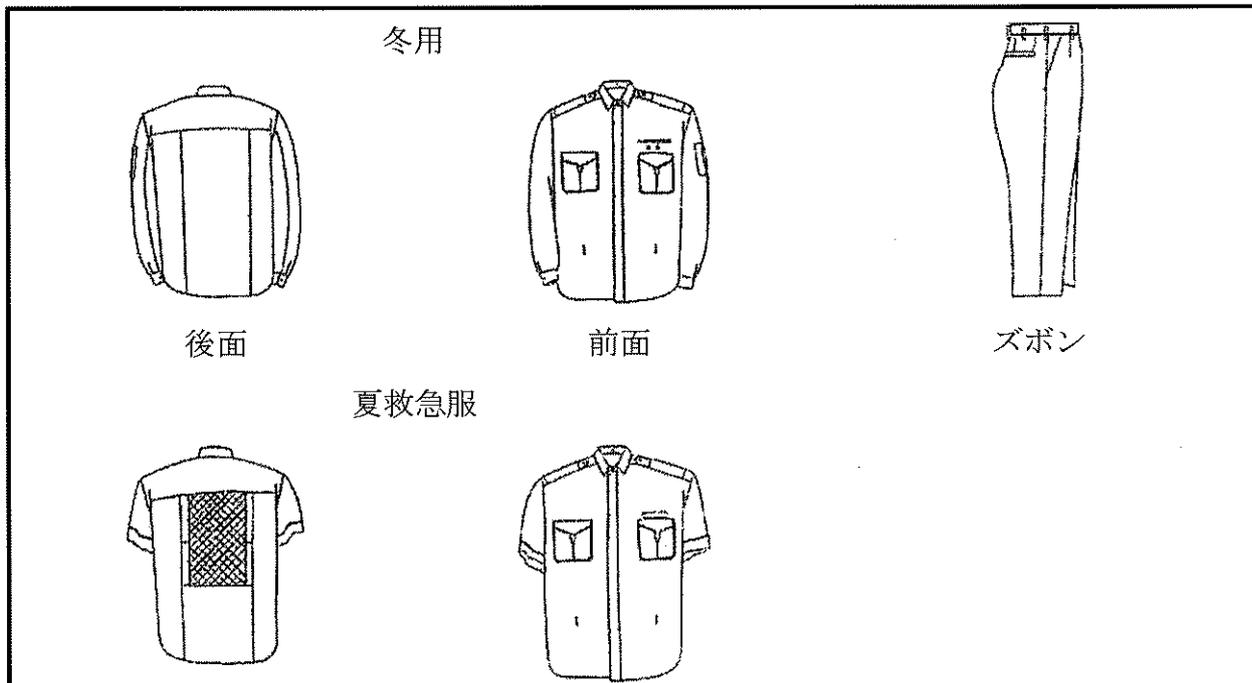
消防吏員服制				
冬帽～夏帽 (略)				
防火帽	帽	(略)		
		しころ	色又は地質	金系色の難燃繊維の織物とする。
			製式	防火帽に取りつけるためのボタンをつける。 形状は別図のとおりとする。
保安帽～活動服 (略)				
防火衣	上衣	色又は地質	金系色の難燃繊維の織物とする。	
		製式	折襟とする。 肩部に緩衝材を入れる。 前面を比翼仕立てとし、胸部に雨蓋付き取り外し可能なアウトポケットをつける。 背面上部に「HYOGO 川西市消防本部」と熱圧着にて2列の白色の反射文字で表示する。 裾部に「KAWANISHI F. D.」と熱圧着にて白色の反射文字で表示する。 形状は、別図のとおりとする。	
	ズボン	色又は地質	上衣と同様とする。	
		製式	つりバンド付き長ズボンとし、前立ては面ファスナーを縫い付け、押しホックにて取りつける。 膝部には強度を確保するため膝当てを補強する。 ズボンの腰部に墜落制止用器具をつける。 両大腿部横に各1個の雨蓋付きアウトポケットをつける。 形状は、別図のとおりとする。	
救急服	上衣	色又は地質	灰色とし、静電防止性、抗菌性及びストレッチ性を有する織物とする。	

	製式	前面	<p>長袖フルジップ式とし、ファスナーは襟先までとする。</p> <p>ポケットは、胸部左右に各1個のファスナー付きポケットをつける。</p> <p>左肩にペン刺しをもうける。</p> <p>背面上部に「兵庫県 川西市消防本部」と銀色で2列の反射機能付きプリント印刷をする。</p> <p>胸部左ポケット上部にマジックテープをつけ、「川西市消防本部」の文字及び氏名をオレンジ色の文字、「救急救命士」を赤色の文字でししゅう状を施したワッペンを張りつける。</p> <p>形状は、別図のとおりとする。</p>
		階級章	胸部右のポケット上部につける。
	ズボン	色又は地質	暗い灰色で、静電防止性、抗菌性及びストレッチ性を有する織物とする。
	製式	<p>長ズボンとし、両脇にファスナー式のファスナーポケットをつける。</p> <p>後方左右ポケットは片玉縁ポケットをつける。</p> <p>ひざ部は刺し子パーツを縫い合わせる。</p> <p>形状は、別図のとおりとする。</p>	
救助服～防寒衣 (略)			
雨衣～ワッペン (略)			

別図 (数字は寸法を示し、その単位はミリメートルとする。)

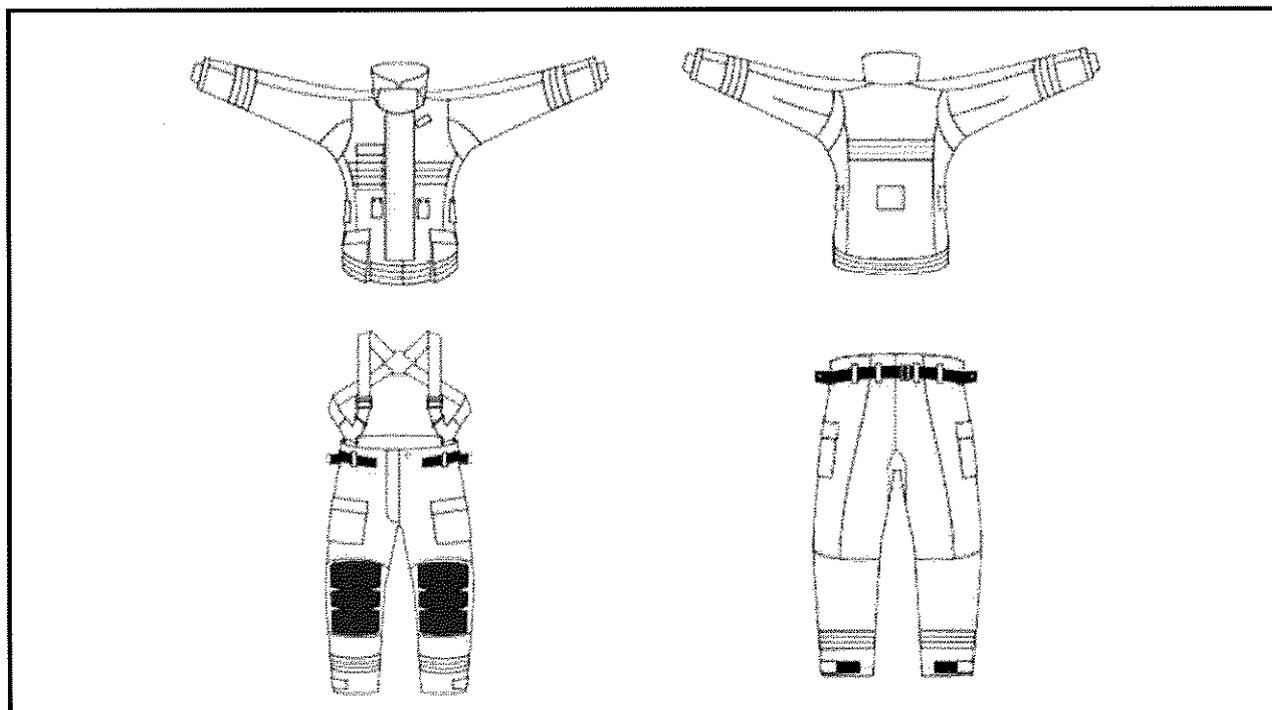
冬帽～活動服 (略)

冬救急服



救助服～制服用バンド (略)

防火衣



消防手帳～普通救助隊ワッペン (略)

(別紙2)

(改正後)

別図 (数字は寸法を示し、その単位はミリメートルとする。)

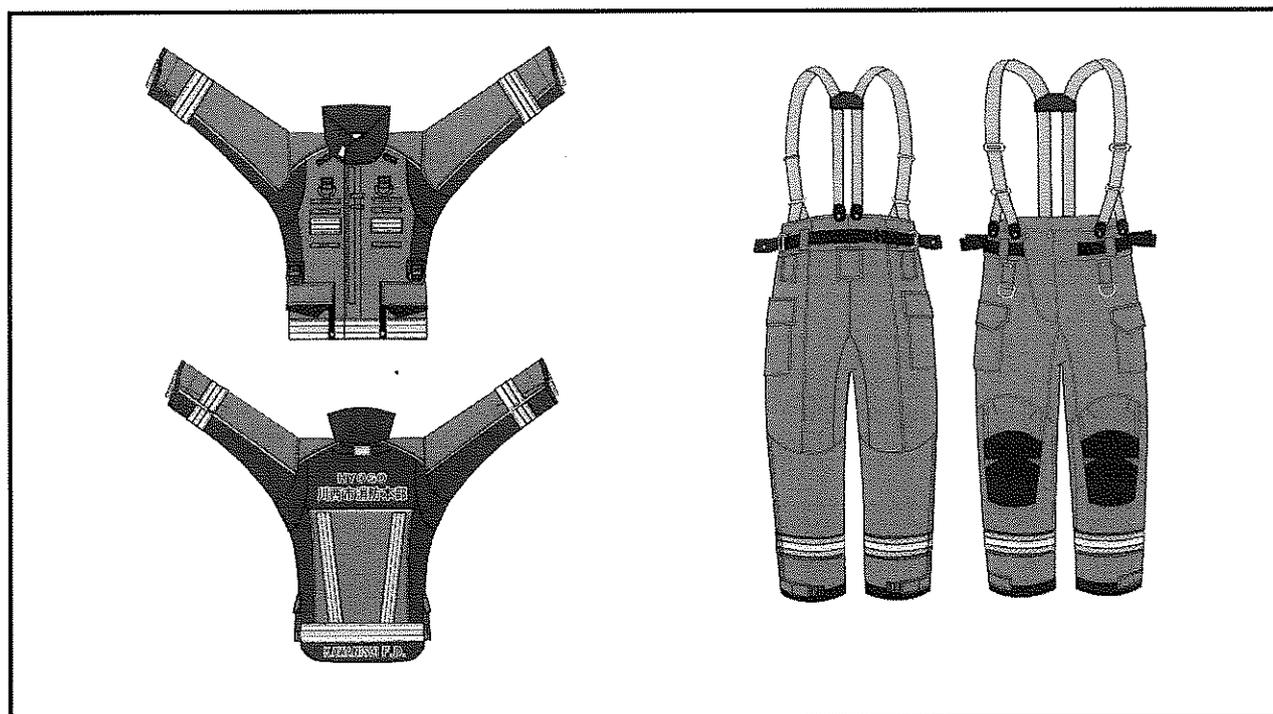
冬帽～活動服 (略)

救急服



救助服～制服用バンド (略)

防火衣



消防手帳～普通救助隊ワッペン (略)